

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 27-91
補助事業名 平成27年度 超電導技術振興のための普及啓発 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 国際超電導産業技術研究センター

1 補助事業の概要

事業の目的

(1)CO₂の削減、省エネルギー等の革新的技術の確立が喫緊の課題であるが、超電導はその一つとして注目され、国家レベルで期待が高まっているなか、本事業により、この技術開発を普及啓発などの側面から支援することによって、超電導技術の早期実用化、普及導入にむけて重要な役割を果たし、もって機械工業の振興に寄与する。

URL http://www.istec.or.jp/istec/pdf/H27_purpose.pdf

(2)実施内容

①国際超電導シンポジウムの開催(<http://www.istec.or.jp/ISS/>)

江戸川区タワーホール船堀にてH27年11月16日(月)～11月18日(水)の3日間、国際超電導シンポジウム2015 (ISS2015)を開催した。超電導産業技術の開発と実用化の促進、一般社会への普及・啓蒙を図ることを目的としたISSは国内外の超電導に関する研究や技術開発の成果発表と国際交流を通して、毎年開催しており今回で第28回目となった。

本シンポジウムの開催は、電子情報誌「超電導Web21」にて開催予告を行い、新聞各紙にも通知している。開催後は「超電導Web21」の特集号として掲載し、広く情報提供を行っている。



シンポジウム開会式



Prof. Moonによる特別基調講演

② 国際交流事業(国際超電導サミット)

国際超電導サミット (ISIS-24) はH27年9月2日(水)～4日(金)ドイツのケルンでの開催された。

超電導先進国における関連業界のトップが参加するこの会議は各国の超電導における研究開

発、将来の展望などについて産・学・官の国際協力を含めた公開論議を促進することを目的として、超電導の実用化推進についての討議が行われた。

参加国は日本、アメリカ、ヨーロッパ、韓国、ロシアの4ヶ国と一地域であった。

参加人数は、32名であった。



会場内の様子



各国代表による発表

③ 超電導技術動向報告会

一般の方も含めて毎年無料で自由に参加できる「超電導技術動向報告会」をH27年6月8日(月)東京都江戸川区タワーホール船堀にて開催した。冒頭には超電導研究が盛んな韓国より Minwon Park教授の講演も行った。135名が参加し、国内研究機関の研究者などによるそれぞれの研究機関の研究開発成果や最新トピックスの報告が行われ、質疑応答などによる熱心な討議が行われた。



Prof. Parkによる基調講演



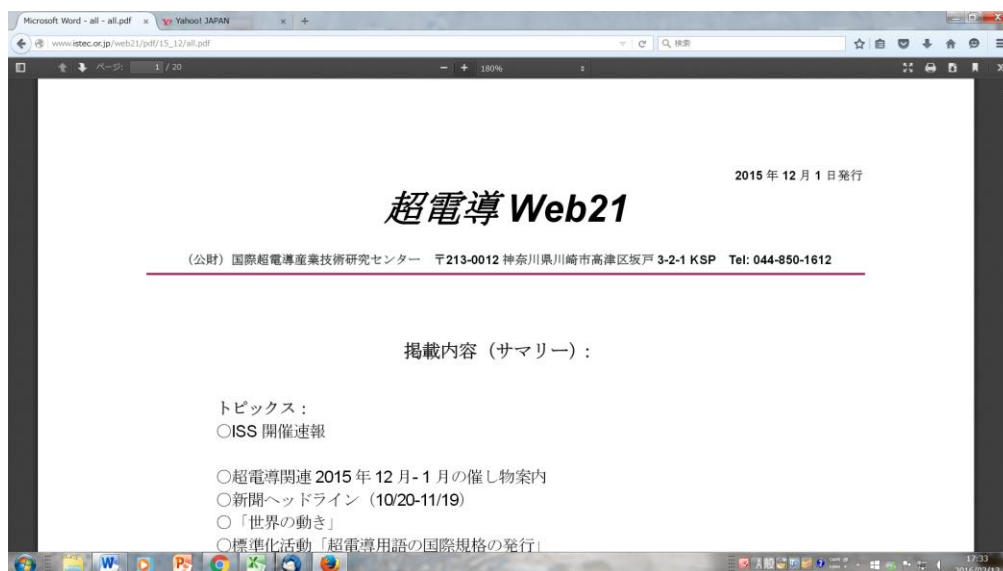
会場内の様子

④ 情報提供事業(Web21) (<http://www.istec.or.jp/web21.html>)

国内外の超電導技術に関する最新情報を電子情報誌「超電導Web21」にまとめ毎月関係者へ配信するとともに、HPに掲載し広く一般にも公開している。

配信数約700カ所、HPアクセス数は日本語版月平均1,000回、英語版月平均300回である。web

の検索ツールでWeb 21などと検索すると、20億件ものサイトがヒットするが、その中で5番目に表示されるという極めて注目度が高い事業である。前記のヒット数はpdfファイルのダウンロードがカウントされないため、実際の注目度は相当に高いのは間違いない。



Web21のウェブサイト

2 予想される事業実施効果

① 国際超電導シンポジウム

シンポジウムで発表された最新の研究成果や研究者、技術者間で意見交換された情報が、超電導技術開発のドライビングフォースとなり、本格的な実用化を控えた超電導研究の更なる促進が期待できる。

また、発刊される論文集 Physics Procedia、Physica-C 特別号の国際的な評価は高く、超電導技術の研究開発における貴重な財産である。この雑誌に掲載させたいために本会議に参加する研究者も少なくない。

② 国際交流事業(国際超電導サミット)

超電導先進国の関連産業界のトップが集まって開催するサミットは、各国のナショナルプロジェクトの相互情報交換、産業界の流れ、将来のプロジェクトについて討議することは、更なる実用化に向けた大きな牽引力となる。

③ 超電導技術動向報告会

産・官・学挙げて行っている超電導研究開発を実用化に繋げていくためには、広く国民からの理解と協力を得ることが必要である。

この超電導技術動向報告会は超電導の専門家だけでなく、一般の方々の参加も可能であり、

広範囲な人々に対して、当財団を含む関係機関、大学、国内の関係企業等の研究者などにより、最新の研究成果やトピックスを報告することで超電導技術の普及啓発を広く一般に図ることができる、数少ない機会である。

④ 情報提供事業(Web21)

超電導技術に関する国内外の研究開発状況、実用化動向、特許、標準化等の最新情報を電子版情報誌として日本語版、英語版を毎月HP上に発行(掲載)している。

アクセス数は日本語版で平均1,000件/月、英語版で平均300件/月にもなっており、国内外の技術者、研究者には超電導の研究開発や実用化に関する最新の情報源として広く浸透しており、研究開発の大きな推進力となっていると考えられる。web検索でのヒット数も上位にあり、注目度が伺える。

また、小、中学生、高校、大学の学生たちにも夏休みの課題などのためにアクセスしている様子や何かのきっかけで超電導に興味を持った一般の方々がアクセスされている様子を見ると、Web21は超電導技術開発への理解と協力を広げるアイテムとなっていると確信する。

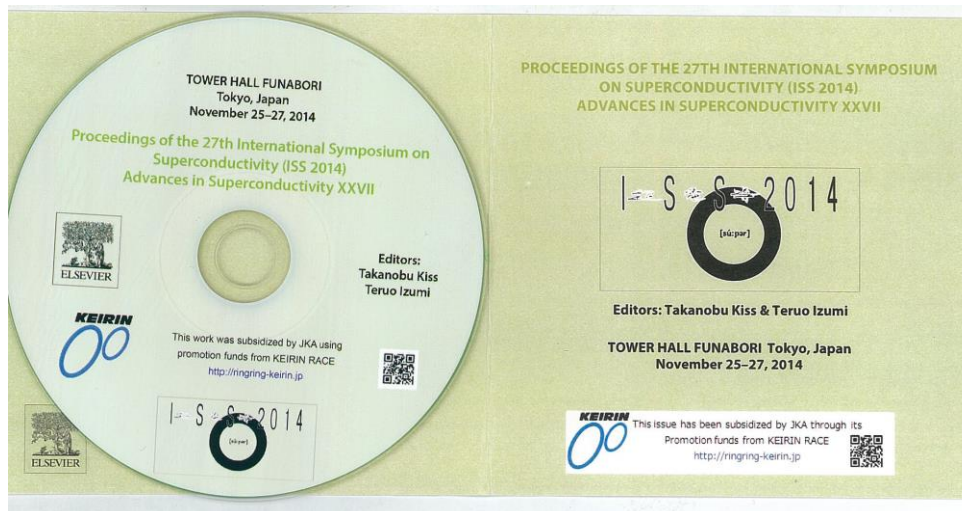
3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 国際超電導シンポジウム

- ・ISS2014 プロシーディングス(2014年度開催のISS論文集)

CD-ROM本体とCD-ROM表紙



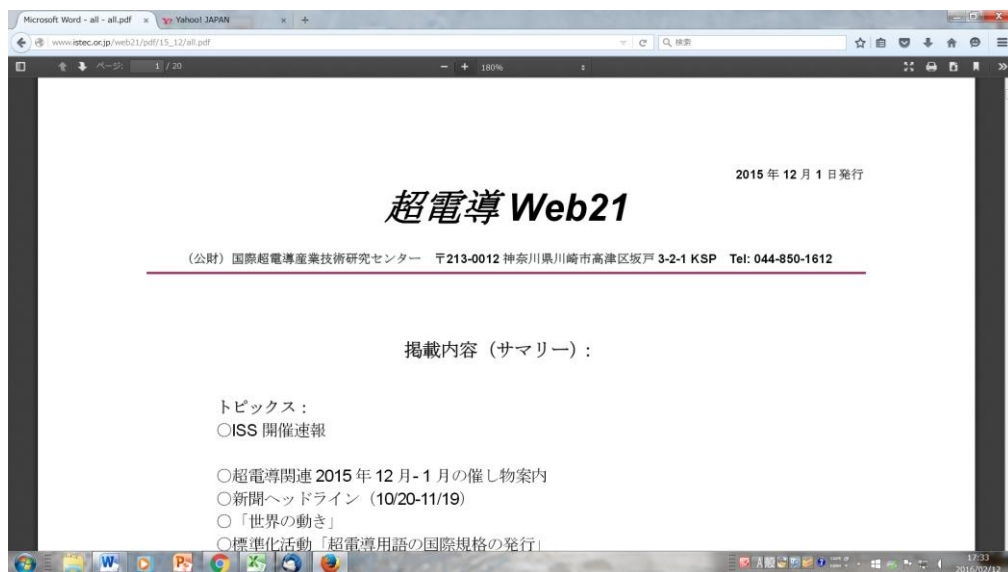
② 超電導技術の情報提供事業

- ・超電導Web21 (2015年4月号～2016年3月号の各月号)(日本語版)
- ・超電導Web21 (2015年April号～2016年March号)(英語版)

※上記成果物は電子媒体のみ、アクセスは下記

(日本語版)<http://www.istec.or.jp/web21/web21.html>

(英語版) <http://www.istec.or.jp/web21/web21-E.html>



(2) (1)以外で当事業において作成したもの

① 国際超電導シンポジウム (ISS2015)

Program Book



Abstract集のUSB



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：(公財)国際超電導産業技術研究センター

(コウエキザイタンホウジン コクサイチョウデントウサンギョウキョウキョウケンキュウセンター)

住 所：〒213-0031

神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1

代 表 者：理事長 森 詳 介 (モリ ショウスケ)

担当部署：普及啓発・国際部 (フキョウケイハツ・コクサイブ)

担当者名：倉持 純子(クラモチ ジュンコ)

電話番号:044-850-1611

F A X : 044-850-1613

E-mail : webmaster@istec.or.jp

URL : <http://www.istec.or.jp>